

理事会、総会の開催

日本ハビタット協会の理事会が5月23日午前に、総会が同日午後に開かれ、2011年度の活動報告・決算報告を承認し、2012年度の活動方針・予算を決定しました。また、麻生渡前福岡県知事と松田美幸福岡地域戦略推進協議会パートナーを新たに理事に任命しました。



ご寄付をいただきありがとうございます

ご寄付	国際ソロブチミスト 熊本一さくら・北九州・北九州一西・日向・甘木・耶馬溪・沖縄・長崎ガーランド・太宰府、Mr. & Mrs. Tad Johnson、熊本空港ビルディング(株)、(有)吉野商店、日影茶屋、(株)新橋スタンプ商会、福岡アジアマンス委員会、シロマルコトミ、永井 準、益見 孝述、加山雄三、海老原 俊博、(有)岩田時計店、久保庭 啓一郎、郷古 実、東京共済病院、原田 義信、(株)しげ吉、高橋由紀子、中部国際空港(株)、國府田 清香、さかこ珈琲店、三浦 教子、山口 紀子、関西国際空港(株)、山崎 純子、ステーキ将門、錫切 順子、勝又 宏幸、東京国際空港ターミナル(株)、小澤 久良子、松本 賢次、松本 正子、上東野 治男、新井 てつお、深山 静子、杉山 真由美、すぎもと在宅医療クリニック、(有)アオキ、赤枝六木本木診療所、川上 五郎、村田 由紀、大石 加奈子、丹波 佐和子、竹田 英一・啓子、中井 禮子、中村 勇、JR九州高速船(株)、長沢 俊彦、長島 定則、高橋 愛子、大浦みづき事務所、波多野 信子、フォートマイヤース、東京永田町ライオンズクラブ、東京櫻ライオンズクラブ、糀山 正行、はなさら、有村 琴子、麓 正明、澤渡 好子、ふくおか会館、福岡空港ビルディング(株)、成田国際空港(株)、住友商事(株)、タカーズカンパニー、阿比留 和彦、岩隈 久志・まどか、西内 純一、大隅 道子、分部 智香子、三浦 浩子、聖バルバラ協会(イタリア)、伊木 常昭、久山 純弘、他に、舞台チケット代寄付者として、横浜 56名分、東京 189名分、福岡 137名分
切手・書き損じハガキ	全日本空輸(株)、(株)アイ・コミュニケーションズ、成田国際空港(株)、(株)しげ吉、住友商事(株)、柿沼 光子、中島 邦雄、市川 能理子、鈴木 朝子、松本 賢次
ご協力いただいた団体	三井物産(株)、(株)JALエーピーシー、ニューサンマー、アクセンチュア(株)、(株)新橋スタンプ商会、モーハワイ・コム、(株)あおぞら銀行、(株)千歳館、第一貨物(株)、ソフトバンクモバイル、ジャストギビングジャパン、チャリティプラットホーム、アポロニア(株)、三菱商事(株)、ボプラ社、アジアの女性と子どもネットワーク、ハビタット福岡市民の会、(特活)グラウンドワーク福岡、福岡ユナイテッド・チルドレン、地球市民の会、国際協力NGOセンター、三井ボランティアネットワーク事業団、住友商事(株)、地球環境基金、台北駐日経済文化代表處、(財)シルクセンター国際貿易観光会館、プロジェクト結、(特活)次代の創造工房、福岡県、福岡市、国連ハビタット福岡本部協力委員会、(特活)地球市民の会、(株)タンボボ、(社)農ある暮らし研究会、日本レイシステムズ(株)、(公財)赤枝医学研究財団、吉崎 叶都子、富成 倫子、立石 明子、佐々木 佳代、ハビタットフレンズ東京・名古屋・仙台・九州・ユース・中野・ハワイ・三島

会費納入をお願い致します

日本ハビタット協会は設立以来、皆様のご支援により、様々な活動を展開することが出来ました。皆様からのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。引き続き、新たな活動を展開するためにも皆様に会費の納入をお願い致します。

郵便振替：00150-2-17590 日本ハビタット協会 個人会員 1口 3,000円 法人会員 1口 30,000円 (何口からでも結構です)

紛争・災害後のまちづくりにご協力下さい

国連ハビタットは、人の幸せの基本である「まちづくり」を様々な角度から考え、世界中の人们が安心して毎日を送れるような、居住環境をサポートしています。「人の幸せをささえる『まちづくり事業』」に皆様からのご協力を宜しくお願い致します。

郵便振替

00150-3-568405

日本ハビタット協会・まちづくり基金口

三菱東京UFJ銀行 駒町中央支店

普通口座 1519563

日本ハビタット協会

あおぞら銀行 本店

普通口座 6753952-001

特定非営利活動法人日本ハビタット協会

書き損じハガキ・切手をご寄付下さい

ハガキ、切手がたくさんの人達の大きな笑顔に役立ちます。不要なハガキや切手(未使用)をお持ちでしたら日本ハビタット協会迄お寄せ下さい。
※下記の住所宛にお送りください。

外貨コイン・紙幣で災害復興等を応援しよう

ご家庭にある外貨コイン・紙幣を日本ハビタット協会にご寄付下さい。災害復興等に活用させていただきます。全ての国のコイン・紙幣をお受けいたします。ご協力を宜しくお願いいたします。

発行：認定NPO法人 日本ハビタット協会（発行責任 伊木 常昭／編集責任 山本 博子）

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-12 ふくおか会館1階 TEL: 03-3512-0355 / FAX: 03-3512-0358
E-mail: info@habitat.or.jp / URL: http://www.habitat.or.jp

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡8階 TEL: 092-724-7121

第7回湘南国際マラソン

東日本大震災復興支援大会として開催されている湘南国際マラソンのチャリティ募金の寄付先団体として、昨年に引き続き日本ハビタット協会が選ばれています。また、寄付を集める人（チャレンジャー）になって、自ら選んだ支援先に、友人・知人等から寄付を集めることもできます。みなさまのあたかいチャレンジと応援をお待ちしています。

湘南国際マラソン

<http://www.shonan-kokusai.jp/7th/>



チャレンジャー

<http://shonan-m2012.justgiving.jp/>



HABITAT まちづくり通信 No.21

「あの日のこと」

写真が伝えるものがたり「あの日のこと」を2月5日横浜YMCAチャペル、3月11日東京イイノホール、5月13日福岡エルガーラホールで開催しました。

2011年3月11日の東日本大震災を私たちは忘れることができません。いつまでも收まらない長い揺れとそれに続く大津波。多くの方々の尊い命が失われました。この中を逃げまどい不安の中で何日も過ごし、生活を根底から覆された方々が大勢いらっしゃいます。一年を経た今もなお、大変な状況の中で暮らしている方が多く、この方々の復興は私たちの大きな課題です。震災を忘れず、一日も早く復興できるように日本ハビタット協会も様々な事業を実施しています。

その一つとして開催されたのがこの舞台です。未来を信じて少しずつ歩き始めた人々の思いを日本中の方々に伝えていきたいと思います。

第一部は仙台出身の世界的な報道カメラマン、高橋邦典さんの写真集をもとに作られた映像と朗読と音楽の舞台で、チェロ、フルートの演奏と宝塚出身こだま愛さんの朗読、歌が心に響きました。第二部はハビタットフレンズ仙台の永井史恵さんとマリ親善大使のトークで、津波のこと、その直後の日本ハビタット協会の被災地支援について、またその後の生活に関する話を伺いました。会場内で高橋邦典さんの写真展も開催しました。

2月5日の横浜公演ではチャペルの厳かな雰囲気の中で、被災された方々の思いを全員で共有する場となりました。3月11日の東京公演では、舞台に先立ち黙とうをささせて犠牲になられた方々のご冥福を祈り、最後に女川の伝統的な獅子舞が力強く披露され、参加者全員で東日本大震災の復興を祈りました。5月13日の福岡公演ではトークに麻生渡前福岡県知事をお招きし、国連ハビタットの事務所が福岡にあることの重要性なども再確認しました。



こだま愛さんの朗読



女川の伝統的な獅子舞

ありがとうございました



5月13日福岡エルガーラにて

舞台「あの日のこと」には各会場に多くの方々がご来場くださいました。ご多忙の中、会場にお越し下さった皆様、公演のためにご協力いただいた皆様に心からの御礼を申し上げます。この一年、私たちは被災地に何度も赴き、できる限りのお手伝いを精一杯してきました。多くの方々にお目にかかってきましたが、いつも感動することは、被災されたことだけでも大変なのに、お目にかかったほとんどの方が自分のことは二の次にして周りの人々のことを第一に考えていらっしゃることです。なかなかできることだといつも頭が下がる思いがします。災害から一年以上が経ましたが、まだまだ復興には皆様の協力が必要です。私自身も「周りの人に心を配る」ことを心がけ、復興に向けて力を注いでいきたいと思います。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

国連ハビタット親善大使 マリ・クリスティーヌ

ラオス：植林による環境保全事業

ラオス国ルアンパバーンとその周辺都市では、観光都市として発展する中で森が切り開かれ、焼畑農地の跡地がそのまま放置され荒地となっており森林被覆率が低下しています。森林被覆率の低下は自然環境の悪化だけでなく、森林機能低下による水不足など住民の生活に悪影響を与えています。ルアンパバーンの北に位置するパクワー地区の住民 87%は、農業従事者であり自然からの恵みに依存しています。この地域の人口増加率は年 2.6%と高く、5 年後、10 年後の住民生活と自然環境を考慮すると早急な森林回復が求められています。日本ハビタット協会は、パクワー地区の自治体と協力しながら学校を中心とした植林による環境保全を実施します。住民の暮らしに役立つ樹木を植え、収入の一部でさらに苗木を購入し、植林活動の循環も促していきます。この事業には、地球環境基金からも助成をいただいている。



ラオスの植林による環境保全事業に ご協力をお願いします

- 三菱東京UFJ銀行麹町中央支店 普通口座 1519563 日本ハビタット協会
- 郵便振替 00150-3-568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口
- クレジット・カード (VISA、Master Card) でもご寄付いただけます。

※ 日本ハビタット協会のホームページより手続きをお願いします。▶▶▶ www.habitat.or.jp



タイ：ごみ分別とリサイクル活動による環境保全事業

2011 年 4 月より実施していたタイ国チェンマイ県メーランカム村と学校でのゴミ分別とリサイクル活動による環境保全事業が完了しました。ゴミ分別場が村と学校に計 3ヶ所設置されたことにより、生徒や村人がゴミ分別活動に取り組めるようになりました。リサイクル可能な資源ごみの収益は学校行事に活用します。さらに、給食等の際に出る生ごみからはコンポスト生産を進めています。ゴミ分別とリサイクル活動により、今まで「ゴミ」として捨てられていたもののうち、約 15% が有効に活用され、ごみの減少につながりました。



タイ：子ども達の生活環境改善事業

タイ国チェンマイ県サムン郡のメーランカム学校の施設が老朽化、狭小化したため、女子寮の拡大、食堂の床タイル張り、保健室の拡大の工事と、チェンライ県のストリート・チルドレンをケアする施設『子どもの家』(アーサーパッタナーデック財団運営)の給水設備の改善を行いました。工事は 2012 年 6 月に完成しました。プロ野球投手岩隈久寿からの寄付金を受けて、これらの事業を実施することができました。



中学生達の国際協力体験授業



日本ハビタット協会は、誰でも気軽にできる外貨コイン仕分けを通して国際協力が体験できる授業を開催しています。日本ハビタット協会が提供する国際協力体験授業は、修学旅行の体験学習プログラムの一環として、多くの学校で取り入れられています。今年は、会津若松市立第四中学校、石巻市立蛇田中学校、岐阜市立境川中学校、犬山市立東部中学校の延べ 56 人が参加して下さいました。

イタリアの子どもたちから日本の子どもたちへ贈物

2012 年 2 月、北イタリアのモントヴァという町にある聖バルバラ教会の子ども達から東日本大震災への寄付金が届きました。日本人のオルガニストに指導を受けている 10 人の子どもたちが募金活動をして贈って下さったものです。子ども達の温かい気持ちを雄勝小学校の卒業生に届けました。



雄勝小学校卒業式

3 月 19 日 (月)、東日本大震災で津波の被害を受けた石巻市立雄勝小学校の卒業式に招待を受け、マリ大使、山本専務理事、ハビタットフレンズ仙台の熊谷代表の 3 名が出席しました。この学校とは昨年の 7 月に子どもたちとのサッカー教室を開催して以来交流を続けています。卒業生は 6 人。災害後も最高学年として下級生を元気づけ、頑張ってきた 6 人は誇らしい表情で卒業証書を受けました。聖バルバラ教会の子どもたちから届いた募金は、中学生活のための辞書等に活用されました。

子どものための 自立支援プロジェクト

東日本大震災で親を失った子どもたちは約 2,000 人です。日本ハビタット協会ではこの子どもたちが将来に向かって夢や希望を持って成長し、自立して生きていけるように支援しています。この事業の実施に当たっては宮城県、仙台市の里親、児童養護施設、児童相談所、社会福祉協議会、研究者の有志が、それぞれの所属する団体・機関の枠組みを超えて協力し、子ども一人ひとりのよりよい育ちと自立を考えている団体「子どもの夢ネットワーク」を窓口としています。



被災地のコミュニティ活性化

5 月 24 日 (木)、被災された方々が「農業」を通して元気を取り戻すことができるよう仙台市若林区 笹屋敷地区の町内会館で、東京農業大学の教授から塩害の畑を再生するためのアドバイスをいただきました。地球にやさしく、環境にも配慮した新しい農業の話に参加された方は熱心海岸近くの塩害を受けた畑でも苗は順調に成長しています に耳を傾け質問も相次ぎ、活発な会となりました。参加者の一人から、さっそく試してみたいという声が上がり、日本ハビタット協会はすぐに苗を送り、津波の被害があった若林区の畑に苗が植えられました。農家の方は「もう一度この地域を緑でいっぱいにできるようにしたい」と張り切っています。この事業がコミュニティ活性化のきっかけとなるように私たちも協力していきたいと思います。

★ 2012 年版 復興応援 Tシャツ ★

昨年多くの方々からご協力をいただきました東日本大震災復興応援 Tシャツ募金を今年も実施します。

今年は、「笑顔が広がって、人々の心を元気にしてゆく」というメッセージを込めて作成しました。

1,000 円のご寄付につき、Tシャツを 1 枚進呈します。



表:A



表:B



表:C



裏:共通

デザイン:母袋秀典

サイズ: 各種 S/M/L

事務局および各イベント会場にて承ります。 詳しい寄付方法は、当協会 HP をご覧下さい。 <http://www.habitat.or.jp/>

※ サイズ、デザイン共に数量に限りがありますので、なくなり次第、締め切らせて頂きます。

※ 生地色はイメージと異なる場合がございます。ご了承ください。

※ お届けまでに時間がかかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(注:Bのお届けは、8 月上旬以降となります。)